ひのき工房便り

VOL. 154 2022.04.01

しせっちょう 施設 長 からの挨拶

— 新年度を迎えて —

こうぼう しせっちょう にいの ひろし ひのき工房 施設長 新野 浩

ひのき工房の周辺には水仙の花が凛と咲き並び、坂下の枝垂れ桜が満開を迎え、 はるの訪れを知らせてくれています。昨年度も新型コロナの感染拡大に振り回されな がら私が施設長になって一年が過ぎました。感染対策として毎日の検温・手指 はまうどく 消毒・マスク着用等、利用者、ご家族、グループホームスタッフの皆様にはご理解 とご協力をいただき大変ありがとうございました。

昨年度の生産活動では、コロナの影響でイベント収入が減収となる中、「おたすけ際」事業の評判が広がり、新規依頼やリピーターが増え売上アップに大きく繋がり、また、地域貢献としての活動にも繋がっています。木工事業ではレーザーを取り入れた新商品の開発、お菓子作りでは出張販売を増やし、清掃事業でも霊園にくれた。

そして今年度は、「おたすけ隊」で回収したものやバザー品をインターネット販売できるよう準備を進めており、新たな事業としてチャレンジします。利用者さんたち一人ひとりに合った作業を選べるようにして、やりがいや工賃アップに取り組んでいきます。

レク活動では満足のいくイベントがなかなか行えない状況ですが、私は「背管でコロナに負けず、ひのき工房を開所し続けて一年間を過ごせたらいいな」と思います。ひのき工房に通所して仲間に会い、楽しく過ごしながら作業にも励めるよう、ひのき工房に元された。

こんねんど みなみなさま りかい 今年度も、皆々様のご理解をどうぞよろしくお願いいたします。

かてかてアート展に出展しました!



今年の2月、八王子のまちのなかに、さまざまなアート作品が飛び出していきました!その名も「かてかてアート展」です!このイベントにひのき工房の利用者さんも参加しました。

通常の作品展は、1カ所で作品が展示されるのですが、今回は、セレオ八王子北館の他市内の約20店舗にて作品が展示されていました。この展示を企画されたのは、全事があるうとなっていたに活動されている「東京アール・ブリュットサポートセンタート語が表すです。障害のある方々が生み出す美術・身体表現・音楽などの創作やそれらを取り巻く環境の充実を自指して、「相談支援」「人材育成・ネットワークづくり」「発表機会の確保」などに取り組まれています。このような形で作品が展示されるのは八王子市では初めての試みとのことで、参加できたことは素晴らしいことだと思います!ひのき工房からは、今井隆さん、富山さん、本宮さんの作品がそれぞれ3点ずつ選ばれ、多くの方々に見ていただけました。本当は皆さんにも全種類見ていただきたいほど素敵な作品なのですが、今回はその中から1枚ずつ紹介しま

